

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

音戸小学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	
令和7年度	-0.8	-5.0	-3.1
令和6年度	+3.3	+12.6	-
令和5年度	-0.2	-2.5	-
令和4年度	+4.4	+3.8	

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 66 % 全国 66.8 % 県 69 %</p> <p>言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化 話すこと・聞くこと 読むこと 書くこと</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することに課題がある。(設問1一)【話すこと・聞くこと】(平均正答率38.1%) ◎文章の構成を捉え、要旨を把握することに課題がある。(設問3二(2))【読むこと】(平均正答率42.9%) ◇文章を読む目的を明確にして複数の資料を結び付け、必要な情報を捉えること、伝えたいことの根拠を明確にして書くことに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎目的をもって特定の相手に質問して必要な情報を聞き出し、集めた情報を分類・関連付けてまとめ、発表する活動を設定する。 ◎文章を読んで要旨をまとめる活動を授業で重点的に取り組んだり、新聞ワークシートを活用してまとめる活動をドリルタイムや家庭学習等で継続して行ったりしていく。 ◇丸で囲む、線でつなぐなど複数の資料を結び付けながら読む活動や自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いた文章を互いに読み合い、見直す活動を設定する。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問1一)(第5・6学年,1月)目標70%→結果67% ◎全国学力(設問3二(2))の類似問題<標準学力>(第5・6学年,12月)目標70%→結果44.8%(全国平均-6.7) ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の児童の割合 目標0%→結果3%
<p>算数</p> <p>本校 53 % 全国 58 % 県 59 %</p> <p>数と計算 図形 測定 変化と関係 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることに課題がある。(設問3(1))【数と計算】(平均正答率42.9%) ◎基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することに課題がある。(設問2(4))【図形】(平均正答率9.5%) ◇数学的な見方・考え方を働かせ、必要な情報を読み取り、それを活用して筋道を立てて考察することに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎数の単位に着目して、その幾つ分になるかを捉える等、数の相対的な見方や考え方について理解を深められるように授業改善を図る。 ◎既習の図形の定義や公式を復習する場を繰り返し設定する。既習の図形になるように分けたり、数を書き込んだりする等、求積するのに必要な情報を図に記入して思考の手がかりにするようにし、式や言葉を用いて解き方を説明する場を授業で大切にしていく。 ◇授業の中で基礎基本の知識を習得する時間を確保する。また、算数・数学で学んだことを生活や学習で活用できるように授業改善を行う。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問3(1))の問題(5・6年,1月)目標90%→結果86% (設問2(4))の問題(5・6年,1月)目標70%→結果67% ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の児童の割合目標0%→結果3%
<p>理科</p> <p>本校 54 % 全国 57.1 % 県 59 %</p> <p>エネルギー 地球 生命 粒子</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能の習得に課題がある。(設問3(2))【生命】(平均正答率19%) ◎電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いていない。(設問2(3))【エネルギー】(平均正答率61.9%) ◇問題を解決するための方法を発想し、課題・条件を正しく設定しながら調べ、その結果を分析することに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎顕微鏡を操作して、適切な像にするための技能を身に付ける学習を設定するとともに、他の基本的な器具も適切に使えるよう丁寧に指導する。 ◎「解決したい問いを見いだす」「予想を立てる」「実験・観察する」「結果を基に既有的知識を活用しながら考察し、まとめる」という理科の授業展開を大切に授業を行う。 ◇自然現象から課題を見つけ、調べる課題とそれを解決するための条件を探りながら整理して、実験を計画させる時間をとる。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問3(2))の問題(5・6年,1月)目標70%→結果51% (設問2(3))の問題(5・6年,1月)目標90%→結果82.5% ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の児童の割合目標0%→結果0%

【来年度に向けて】

年度始めから、学校全体で問題文から必要な情報に着目し、線や囲いをする習慣を身に付けさせ、文章を読み取る力を育成する。また、算数科においては基礎基本の定着を図るために、導入に既習事項の反復学習を位置付けるとともに、言葉、図、式を結び付けながら考えを説明する場を継続的に設ける。